

## 様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年6月13日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県越前市北府1丁目3-34

氏名 川研ファインケミカル株式会社 福井工場  
工場長 高橋 直行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0778-24-0629

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 川研ファインケミカル株式会社 福井工場

事業場の所在地 福井県北府1丁目3-34

計画期間 令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 E16 (化学工業)

②事業の規模 4,287百万円 (製品出荷額: 令和5年度実績)

③従業員数 78名

④産業廃棄物の一連の処理の工程 別紙①のとおり

(日本産業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

全社管理責任者 : 環境安全推進室マネージャー  
 工場管理責任者 : 各工場の環境安全グループリーダー  
 廃棄物の統括責任者 : 環境安全グループリーダー  
 廃棄物の管理責任者 : 環境安全グループが指名 (環境安全グループ員)

環境マネジメントシステムで廃棄物管理基準書を作成し、廃棄物の管理、マニフェスト管理、委託業者の選定等について定めている。また、EMS会議において、廃棄物の削減状況、有償化状況について確認している。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙②のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙②のとおり			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物管理手順書に従って分類し保管場所を定めている
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物管理手順書に従った分類・保管を行う

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（           年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
		t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t
		t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（           年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	t
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)  別紙③のとおり		

②計画	<b>【目標】</b>	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙③の通り	
※事務処理欄		

別紙①

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

<p>④産業廃棄物の一連の処理の工程</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○汚泥 優良認定処理業者へ委託 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)</li><li>○廃油 優良認定処理業者へ委託</li><li>○廃酸 優良認定処理業者へ委託</li><li>○廃アルカリ 優良認定処理業者へ委託 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)</li><li>○廃プラスチック類 処理業者へ委託(中間処理後は再利用) 処理業者へ委託(中間処理後は埋立処分)</li><li>○木くず 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)</li><li>○金属くず 処理業者へ委託(中間処理後は再利用)</li><li>○ガラスくず 処理業者へ委託(中間処理後は再利用) 処理業者へ委託(中間処理後は埋立処分)</li><li>○管理型混合廃棄物 処理業者へ委託(中間処理後は埋立処分)</li></ul>
------------------------	--

## 別紙②

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	金属くず	管理型混合廃棄物	合計
	排出量	235.1t	8.2t	293.7t	864.4t	7.6t	2.6t	0.6t	34.3t	0.0t	1446.5t
	（これまでに実施した取組） ・生産量の増加で、廃アルカリが少し増加した。 ・汚泥の排出量が減少した。 ・廃油の排出量が減少した。										
②計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラスくず	金属くず	管理型混合廃棄物	合計
	排出量	235.0t	8.0t	290.0t	860.0t	7.0t	2.5t	0.6t	30.0t	0.0t	1433.1t
	（今後実施する予定の取組） ・廃酸、廃アルカリをBOD負荷で分別する取組みを継続して行う。 ・不適合、トラブルによる廃棄物を減少させる取組みを継続して行う。 ・廃棄物の再利用する取組みを継続して行う。 ・汚泥量及び木くずの削減を検討する取組みを行う。										

## 別紙③

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】											
産業廃棄物の種類		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	がらくず	金属くず	管理型混合廃棄物	合計
①現状	全処理委託量	235.1t	8.2t	293.7t	864.4t	7.6t	2.6t	0.6t	34.3t	0.0t	1446.5t
	優良認定処理業者への処理委託量	212.4t	8.2t	293.7t	853.8t	6.5t	2.6t	0.6t	0.0t	0.0t	1377.8t
	再生利用業者への処理委託量	82.7t	3.0t	287.5t	773.0t	7.6t	2.6t	0.6t	34.3t	0.0t	1191.3t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
（これまでに実施した取組） 優良認定業者，再生利用業者を優先して処理を委託した。											
【目標】											
①計画	全処理委託量	235.0t	8.0t	290.0t	860.0t	7.0t	2.5t	0.6t	30.0t	0.0t	1433.1t
	優良認定処理業者への処理委託量	212.0t	7.8t	290.0t	811.1t	6.0t	2.5t	0.6t	0.0t	0.0t	1330.0t
	再生利用業者への処理委託量	82.0t	2.9t	285.0t	760.0t	7.0t	2.5t	0.6t	30.0t	0.0t	1170.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
（今後実施する予定の取組） 優良認定業者及び再生利用業者に優先的に処理を委託し、適正に処理されていることを確認するため定期的に業者訪問を行う。											